

Dance

絵画・現代書・彫刻から創る インクルッシブ・ダンス・ワークショップ

インクルッシブ・ダンス・ワークショップは即興を基本とする場合が多いのですが、ここでは、多様なアート・フォームからヒントをもらいつつ、新しいインクルッシブ&クリエイティブ・ダンスをつくっていきます。書道の筆の動きや、あるいは抽象絵画の色や形、彫刻などの立体をもとに体の動きをつくるなど、様々な要素からそれぞれが異なるインスピレーションを得て、お互いの創造性を生かし合いながら、ダンスをつくってみます。

まずは自分の体やムーブメントにじっくりと向き合っ、感覚を豊かに研ぎ澄まします。2日目にはこうして得た感覚とアイデアを使って他の人と空間をシェアしながら踊りをみんなで作っていく作業をしてみます。心と体を通して一緒に踊りを分かち合っていくきましょう。

インクルッシブ・ダンスの新しい展開を求めている方々におすすめのワークショップです。なお、午前中は障害のある方々とのダンス活動を実践していらっしゃる方々、また、これから展開していきたい方々のためのファシリテーション・ワークショップです。



- 日時：2022年7月30日(土)、31日(日) 2日間
- 会場：都内(お申し込みの方にご案内いたします)
- 10:30～12:30 ダンスに興味のある大人、及び指導者向けワークショップ
- 14:00～15:30 午前の参加者と障害のある人達との合同ワークショップ
- 対象者・定員：ダンスに興味のある大人、及び指導者 10名 障害のある人 10名
- 参加費：ダンスに興味のある大人、及び指導者(午前&午後通し) 8,000円 障害のある人(午後のみ) 2,500円
- 講師：小林 あや

横浜生まれ。昭和音楽芸術学院バレエ科卒業後2003年に渡英、Rambert Schoolで学ぶ。ロンドンを拠点にYael Flexer, Charlie Morrissey, Rosemary Lee, Gecko Theatre 等様々なアーティスト、カンパニーと活動する。2009年より知的障害のあるダンサーのみで形成される Anjali Dance Company の常任アーティストとなり常にダンサーのトレーニングと振付けを担い、障害者の持つ表現体や獨創性をどのように高いレベルのアートとして形作っていくか可能性を追求してきた。

Performance (パフォーマンス)

上記ワークショップで生まれてきた
ダンスのショーイングを行います。

- 日時：2022年7月31日(日) 15:45～16:15
- 定員：20名
- 入場料：500円
- 会場：都内(お申し込みの方にご案内いたします)



Visual Art

絵画ワークショップ

障害のある人と共に、互いの創造性を刺激し合い自らの自由な表現を追求した絵画作品を創作、展示披露します。従来の写実的手法ではなく、絵筆の他にローラーや竹べら、スポンジ、木型など他のさまざまな道具を使うことで生まれてくる面白いマチエールや型にとらわれない抽象的な新しい表現を創り出していきます。

- 日時：2022年8月7日(日) 13:30～15:30
- 会場：北区文化芸術活動拠点 ココキタアトリエ
- 対象者：障害のある人 10名 定員 障害のない人 7名
- 参加費：障害のある人達と創る絵画活動に興味のある大人、及び指導者 4,500円(材料費込み) 障害のある人 2,500円(材料費込み)

■講師：西村 陽平 (日本女子大学名誉教授・美術家)
1947年京都市生まれ。1973年東京教育大学教育学部芸術学科卒業。1975年から1998年まで千葉県立千葉盲学校で図工を担当。視覚障害の子どもたちに造形指導を行うとともに、自らも造形作家として活動。1977年には、日本陶芸展において外務大臣賞受賞。2018年3月まで日本女子大学児童学科教授。現在、日本女子大学名誉教授・美術家。

Creative Music

音楽ワークショップ



① バレット・ソノールを使った音楽ワークショップ&パフォーマンス ～視覚障害のある方々と共に～

ベルナル&フランソワ・バシェは基本的にプロフェッショナルな音楽家達だけが演奏できる楽器ではなく、誰もが音楽に親しめる音響彫刻を創作しました。特にバレット・ソノールはベルナル・バシェが小型で使いやすい楽器として考案したものです。このワークショップでは視覚障害のある方々と共に、さわること、聴くこと、感じることからどのような音楽が紡ぎ出されるかを体験していただきます。午前中は楽器を組み立てるところからバレット・ソノールの使い方、演奏の仕方について、指導者の方々向けにワークショップを行います。



- 日時：2022年8月6日(土)
- 会場：アーツ千代田 3331 ギャラリーB
- 10:30～12:30 音楽に興味のある大人、指導者向けワークショップ
- 14:00～15:30 午前の参加者と視覚障害のある人達との合同ワークショップ
- 15:45～16:15 パフォーマンス
- 対象者・定員：音楽に興味のある大人、及び指導者 10名 視覚障害のある人 10名
- 参加費：音楽に興味のある大人、及び指導者(午前&午後通し) 6,000円 視覚障害のある人(午後のみ) 2,000円
- 講師：岡田 加津子

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。作曲活動の一方で、楽器を使わずに音楽する「リズムック・パフォーマンス」などを制作。2015年～バシェの音響彫刻を用いた新しい舞台創造、教育活動に情熱を注ぐ。京都市立芸術大学教授。

北村 千絵 (ヴォーカリスト)
京都市立芸術大学を卒業後、英国王立音楽院、トリニティ音楽大学にて研鑽を積む。近年、舞踏や様々なジャンルの音楽家との即興演奏に取り組み一方、日本語・英語の朗読、また音楽作品とのコラボレーションも多い。京都市立芸術大学非常勤講師。

(コンサート①) ■出演：北村千絵

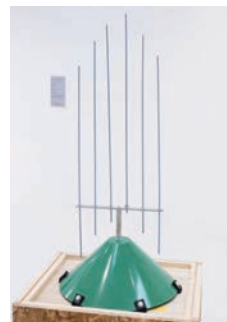
Performance (パフォーマンス)

上記ワークショップで生まれてきた
音楽のショーイングを行います。

- 日時：2022年8月6日(土) 15:45～16:15
- 定員：20名
- 入場料：500円
- 会場：アーツ千代田 3331 ギャラリーB

② 創造的な音楽ワークショップ&パフォーマンス ～知的障害のある方々と共に～

このワークショップは演奏のテクニックを学ぶことよりも一人一人のアイデアを引き出しながら、みんなで音楽を演奏することを楽しみます。バレット・ソノールだけでなく、オルフ楽器も使い創造的に様々な音を発見していきます。また、午前中は多様な人達とどのように音楽づくりを行っていくかに関心のある人達向けのファシリテーション・ワークショップです。



- 日時：2022年8月7日(日)
- 10:30～12:30 音楽に興味のある大人、及び指導者向けワークショップ
- 14:00～15:30 午前の参加者と知的障害のある人達との合同ワークショップ
- 15:45～16:15 パフォーマンス
- 会場：アーツ千代田 3331 ギャラリーB
- 対象者・定員：音楽に興味のある大人、及び指導者 10名 知的障害のある人 10名
- 参加費：音楽に興味のある大人、及び指導者(午前&午後通し) 6,000円 知的障害のある人(午後のみ) 2,000円
- 講師：本多 峰和

オーストリア国立ザルツブルク・モーツアルテウム大学「オルフ研究所」卒業。名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化専攻博士前期課程修了。愛知学泉短期大学幼児教育学科准教授。日本オルフ音楽教育研究会運営委員。

(コンサート②)

Performance (パフォーマンス)

上記ワークショップで生まれてきた
音楽のショーイングを行います。

- 日時：2022年8月7日(日) 15:45～16:15
- 定員：20名
- 入場料：500円
- 会場：アーツ千代田 3331 ギャラリーB

Musical Instruments

「新しい楽器」を創りたい人のためのワークショップ

過去の芸術家や音楽家たちはこれまで聞いたことのないような音を発する音響彫刻や創作楽器を創り出してきました。それらがどのようなコンセプトを持ち、どのような技法で作られているのかを学ぶことは、自らが「新しい楽器」を創造する上で大きなヒントを与えてくれます。楽譜にこだわらない音楽も創造できるでしょう。未知の音を求める人のための、これまでにつくられてきた音響彫刻や創作楽器を学び、「新しい楽器」を構想していくワークショップです。

新しい音響彫刻あるいは創作楽器のアイデアを出してもらった上で、来年度は、専門家からのフィードバックを得ながら、実際の楽器作りに挑戦してもらおうプログラムを企画しています。このワークショップはその企画に向けたキックオフイベントです。

- 日時：2022年8月13日(土)、14日(日) 2日間 11:00～16:30
- 会場：都内王子界限(お申し込みの方にご案内いたします)
- 対象者・定員：楽器作りに関心のある人 20名
- 参加費：一般 8,000円、学生 3,000円

1日目：楽器を紹介するイントロダクション

①「バレット・ソノール」、「アプレ・バシェ」

(講師：三枝 一将、田中 航)

ベルナル&フランソワ・バシェ兄弟によって作られた教育音具「バレット・ソノール」と「アプレ・バシェ」の現物を実際に見ながら、楽器の構造を学びます。また、音楽家にどのような音が出るか演奏をしてもらいます。また、ミニ音響彫刻キットも組み立てることでより具体的な構造を理解して頂きます。



③「オート・ハーブ」、「ショート・ピアノ」

(講師：船橋 陽)

楽器から音が発生する仕組みを抜き出したものを「発音体」と捉え、それらを解りやすく再構成し、「音を発しているものや、音そのものに触れている」感覚を供する作品達です。



Photo: Mika Kitamura

2日目：「新しい楽器」を構想するワークショップ

■ファシリテーター：毛利 嘉孝 (東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授)

専門は社会学・文化研究。特に現代美術やメディア文化と社会との関係を考察している。京都大学経済学部卒。ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ MA (メディア&コミュニケーションズ)、同 PhD (社会学)。九州大学大学院助手・助教授を経て現職。2002～2003年ロンドン大学客員研究員。主著に「ポピュラー音楽と資本主義」(2007年、せりか書房)、編著に「アフターミュージック：実践する音楽」(2017年、東京藝術大学出版会)など。

■ファシリテーター：中川 克志 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)

専門は音響文化論。19世紀後半以降の芸術における音の歴史、理論、哲学。今は特に日本とアジアのサウンド・アートの歴史を検証している。京都大学大学院文学研究科美学美術史学博士課程修了。共著「音響メディア史」(ナカニシヤ、2015年)、共訳にスターン「聞こえる過去」(インスクリプト、2015年)など。単著「サウンド・アートの系譜学」を準備中。